

報道関係者各位

2017年4月22日
株式会社プラスディー

**全米絶賛！2013年 Wall Street Journal が選ぶ“ミステリートップ 10”に選出
中村文則の傑作「悪と仮面のルール」が、玉木宏主演で初映画化！**

**株式会社プラスディーが企画制作/プロデュース、製作委員会に主幹事参画へ
- 2018年全国ロードショー -**

広告事業および、映画/映像の企画制作事業、ならびに地方創生事業を行う株式会社プラスディー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：本田晋一郎、白井淳、以下「プラスディー」）は、海外でも高い評価を得ている中村文則氏の原作「悪と仮面のルール」（©中村文則/講談社）の映画化に、企画制作/プロデュースに加え、映画への出資、製作委員会への主幹事として参画いたします。

本作品は、日本国内のみならず、アメリカをはじめとした海外でも注目を集める傑作で、特殊な環境で育ってしまった男の、究極の愛の物語。映画化において、監督には映画/MV/CMなど、数多くの話題作有名作品を手掛ける、中村哲平氏を迎えました。また、主演の玉木宏さんは「非常にデリケートで難役」とコメントする通り、悪を秘め、あらゆる環境の中戦う主人公の表現と向き合い、原作者/中村文則さんにおいては「現場にお邪魔して、とても面白くなると肌で感じました」と期待のコメントを寄せるなど、新たな「純文学×エンタテインメント」が生まれます。

<キャスト・監督>

【主演：玉木宏（久喜文宏/新谷弘一役）】

1980年1月14日、愛知県出身。映画『ウォーターボーイズ』（01）で注目を集め、テレビドラマ「のだめカンタービレ」（06/CX）で人気を不動のものとする。主な映画出演作は、『真夏のオリオン』『MW—ムウ—』（09）、『大奥』（10）、『聯合艦隊司令長官 山本五十六』（11）、『すべては君に逢えたから』（13）、『曹操暗殺 三国志外伝』『幕末高校生』（14）、『神様はバリにいる』（15）、『探偵ミタライの事件簿 星籠の海』（16）等。NHK連続テレビ小説「あさが来た」（15-16）で人気を博している。

>コメント

Q.本作品のオファーがあった時の第一印象

—中村文則さんの持ち味である、深く深く出口のない溝に落ちていくようなスケールの大きい作品を映像化するというのはチャレンジングだと感じました。

Q.主人公はすべてを秘めて押し殺した役柄ですが、演じてみてのご感想や、演じる際に意識したことなど

—非常にデリケートで難しい役柄だと感じました。

結論から言うと、文宏は整形をして他人の顔を手に入れ、覚悟を決めて進もうとするが、人の内面は整形出来ない。悪に対して理性があるが故の脆さを大切に演じたいと思いながら、この作品と文宏という役に向き合いました。

Q.出来上がる作品への期待

—特異な作品だからこそ、「善悪」「真の愛」「家族」「友人」の事を、改めて見つめ直すきっかけになるのではないかと思います。

【監督：中村哲平】

映画監督/脚本家。映画、CM、MVの演出、及び小説や脚本の執筆。日本語 / 英語のバイリンガル。

1979年8月18日生まれ。2001年、渡米し、ロサンゼルスで映画演出を学ぶ。2009年、LAで伊原剛志と共に共同執筆したショートフィルム「A LITTLE STEP」を監督。日本に帰国した後、関ジャニ∞出演の長編映画「8UPPERS」の脚本・監督をする。

2010年、関ジャニ∞と共に Feature Music Film「8UPPERS (パッチアッパーズ)」を制作。長編音楽映画といえる本作品は、楽曲提供に横山剣 (クレイジーケンバンド)、ウルフルケイスケ (ウルフルズ / THE GO GO GO'S)、ROCK'N'TRENCH、HIROKI (Dragon Ash)、DJ KOHNO (ケツメイシ) ら豪華アーティストが参加した。

2011年からは福山雅治出演のアサヒスーパードライ CM の監督を担当。

2012年、ロックバンド・UVERworld の長編ドキュメンタリー映画「THE SONG」を監督。DVD ランキング映画部門において発売初週第一位を獲得。ドキュメンタリー映画ではマイケル・ジャクソンの「THIS IS IT」以来の快挙。その他 MV の監督や、アメリカの大学で学んだ際の語学力を活かし、マイケル・ベイ (「アルマゲドン」「トランスフォーマー」) や、ジョン・ウー (「レッドクリフ」「M:I-2」) と共に CM 制作を行うなど、国際的な作品にも多く携わる。2014年、全編ロサンゼルスで撮影した映画「ZEDD」を脚本・監督する。日本語、英語、韓国語、中国語の四カ国語を使用したインターナショナルな作品として高い評価を受ける。

>コメント

中村文則先生の描く世界を映像化することは、プレッシャーと共に大きな喜びでした。

闇の中に一筋だけ感じる温かな光。

作品は重くて、苦しくて、ズシリと心に来るけれど、

それを乗り越えた先には、純粋な愛が感じられる。

玉木宏さんを筆頭に、魅力的なキャスト、優秀なクルーが集結し、素晴らしい作品になりました。

先生の表現する光や空間や熱、繊細に描かれた人物にストーリー、そして心に響く言葉たち。

その全てを大切に、この映画の中に込めました。

【原作：中村文則】

1977年9月2日生まれ。福島大学卒業。2002年に『銃』で第34回新潮新人賞を受賞して作家デビュー。

’04年『遮光』で第26回野間文芸新人賞を、’05年『土の中の子供』で第133回芥川賞を、’10年『掏摸（スリ）』で第4回大江健三郎賞を、’16年には『私の消滅』で第26回ドゥマゴ文学賞を受賞するなど数々の文学賞に輝く。’12年には

『掏摸（スリ）』の英訳版がアメリカアマゾンの2012年3月の〈月間ベスト10小説〉、ならびに

「ウォール・ストリート・ジャーナル」が選出する〈年間ベスト10ミステリー〉にそれぞれ選出、’13年には

『悪と仮面のルール』も「ウォール・ストリート・ジャーナル」の〈年間ベスト10ミステリー〉に選出。日本人作家として初の2年連続選出の快挙となった。’14年には米国内でのノワール小説への貢献を評価され日本人で初めて

「デイヴィット・グディス賞」を受賞。作品はアジア圏の言語をはじめとして、英語、フランス語、ドイツ語など10を超える言語に翻訳され、世界中に広まっている。

>コメント

素晴らしい役者の方々に演じていただけて光栄です。

現場にお邪魔して、とても面白くなると肌で感じました。大変楽しみにしています。

中村文則

キャスト：玉木宏 他 監督：中村哲平 原作：中村文則『悪と仮面のルール』（講談社文庫）

(C) 中村文則／講談社 (C) 2017「悪と仮面のルール」製作委員会

【プラスディーについて】

行動指針である「世の中を“もっと”楽しませる CREATIVE & PRODUCE COMAPNY であり続ける」ということに加え、社名の由来でもある理念「すべてに“プラスデザイン”を」には、我々が関わることで“更なる付加価値を生む”=“もっと”よくするという定義があります。

私たちは、この行動指針と理念のもと、プラスディーとして関わり・生み出すもので、世の中すべての企業や団体、すべての個人を「楽しませる」ことを使命としていきます。

社 名：株式会社プラスディー
代 表：本田晋一郎、白井淳
住 所：東京都渋谷区南平台町 7-3 Plus D BLDG.
電 話：03-6416-4957
会社 URL：<https://plus-d.co.jp/>

【この件に関するお問い合わせ】

株式会社プラスディー 広報担当 石本
電 話：03-6416-4957
E-Mail：ishimoto@plus-d.co.jp